

# 会 議 録

|       |   |
|-------|---|
| 会 議 名 | 第4回知立市総合公共交通会議  |
| 日 時   | 平成31年3月22日（金） 10時00分～11時30分   |
| 場 所   | 知立市中央公民館 中会議室   |
| 次 第   | <p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項</p> <p>（1）ミニバスの利用状況について 【資料1】</p> <p>（2）ミニバスの車両購入予定について 【資料2】</p> <p>（3）ユニバーサルデザインタクシー導入補助事業について 【資料3】</p> <p>4.協議事項</p> <p>（1）パブリックコメントの実施結果について 【資料4】</p> <p>（2）知立市地域公共交通網形成計画について 【資料5】</p> <p>5.その他</p> <p>6.閉会</p>   |
| 資 料   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、委員名簿、座席表</li> <li>・会議説明資料（資料1、2、3、4、5）</li> <li>・当日配布資料（知立市地域公共交通網形成計画（案）主な修正箇所）</li> </ul>  |
| 出 席 者 | <p>【委 員】 山崎委員（（公財）豊田都市交通研究所主幹研究員）</p> <p>植田委員（愛知県タクシー協会理事）</p> <p>吉岡委員（名鉄バス㈱営業本部運行部運行課長）</p> <p>磯貝委員（知立市身体障害者福祉協議会副会長）</p> <p>堀委員（知立老人クラブ連合会会長）</p> <p>岩城委員（知立市商工会女性部長）</p> <p>櫻井委員（公募市民）</p> <p>二輪委員（中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）</p> <p>榊原（安藤）委員（愛知県振興部交通対策課主幹）</p> <p>夏目（矢野）委員（愛知県安城警察署交通課長）</p> <p>鈴木委員（愛知県知立建設事務所維持管理課長）</p> <p>尾崎委員（知立市都市整備部長）</p> <p>近藤委員（知立市土木課長）</p> <p>（ ）氏名は代理出席者</p> |
| 欠 席 者 | <p>小林委員（（公社）愛知県バス協会専務理事）</p> <p>河合委員（名古屋鉄道㈱東部支配人室営業総務課長）</p> <p>田浦委員（愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事）</p> <p>安井委員（区長会会計）</p>   |

## 内容（概要）

### 1.開会

（司 会） 定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第4回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は13名、全委員17名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。

本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、カラー刷りのミニバスガイド、知立市地域公共交通網形成計画概要版が本日お配りしたものになります。事前に送付させていただきましたものとして「平成30年度第4回知立市総合公共交通会議資料」と「知立市地域公共交通網形成計画」となります。それでは、事務局を代表しまして、清水副市長よりご挨拶申し上げます。

### 2.あいさつ

（副市長） 失礼いたします。本日はご多用の中、第4回目になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。日頃はそれぞれのお立場でご支援をいただいております。重ねてお礼申し上げます。

皆様ご承知のとおり知立市では駅前を中心に100年に1度のまちづくりとして周辺整備を進めているところでございます。知立駅を中心とした開発が進む中、総合公共交通会議において鉄道・バス・タクシー等の公共交通におきまして、まちづくりと連動した持続可能な公共交通を目指す知立市地域公共交通網形成計画の策定についてご協議をお願いしてきたところであります。本日は計画の最終案がまとまりましたので皆様方にご審議をお願いするところであります。また知立市のコミュニティバスでございますミニバスにつきましても、昨年度から高齢者無料化事業といたしまして75歳以上の皆さんには無料でご利用いただけます。このこともあって後ほど報告がございますが、初めて30万人を超える見込みだと聞いています。今後もミニバスにつきましては、さらに皆様方の日常の交通手段として親しんでいただけるように努めて参りたいと考えています。これから市民の生活の多様化、少子高齢化の進行等により、ミニバスを始めとする公共交通機関の必要性、重要性は高まってくると思われま。市民の生活の足として、さらに便利な公共交通の実現ができるよう、今後とも十分に検討を進めさせていただきたいと考えておりますので、委員の皆様方には引き続きご理解・ご協力を賜り、様々なご意見をいただければと思います。本日はよろしく願いいたします。

（司 会） ここで委員の皆様を紹介をさせていただくところではございますが、時間の都合もありますので、配布させていただきました名簿及び座席表にかえさせていただきますが、一部訂正があります。愛知県交通運輸産業労働組合の幹事であります田浦様ですが、ご都合により欠席のご連絡を受けましたので、ご報告いたします。本日の会議で

は、報告事項が3件、協議事項が2件ございます。

今後もより便利なミニバス運行ができますようさらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆さんにはご協力いただきますようご協力をお願いいたします。それでは、ここからの議事進行につきましては、議長の山崎会長に交代させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3.報告事項

(議 長) 皆さん改めましておはようございます。年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。豊田都市交通研究所の山崎でございます。随分暖かくなってきましたが、今度は花粉の季節となってきましたので、なかなか快適に過ごせる時期がありませんね。先ほど課長からお話がありましたとおり、市が運行しているミニバスを中心に名鉄バス、タクシーそういった公共交通を市民にとってより便利にしていくための総合的な公共交通会議ということで、今年度4回目の会議となりました。今日は公共交通網を今後どのようにしていくかということの基本的な網形成計画を皆さんにご審議いただくこととしまして、来年度以降はこの計画に基づいて、より良い公共交通を築いていきたいと考えています。

それでは、次第に沿いまして報告事項(1)「ミニバスの利用状況について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありませんか。

(委 員) 全体的に好調だということで安心をしました。先ほどの説明にもあったとおり、3コースについては高齢者の方が多くは乗っていないということで、無料化事業の影響があまり出なかったということもあるとは思いますが、逆に考えると通勤・通学利用が多いということが言えると思います。通勤・通学にシフトしたような利便性の追及をされると良いかと思っておりますので、今後検討いただきたいと思っております。

(事務局) まだ検討中の内容ではありますが、今年の10月からのダイヤ改正を目標に検討に入っております。その中でオレンジコースにつきましては、最終便が少し早い時間帯になっておりますので、それを延ばすような検討をさせていただいております。

(議 長) 通勤・通学の利用が多くなってくると、サービスを考えると延ばす対応も良いかもしれません。5つのコースを並べてみると、3コースは比較的利用の多いコースとなっております。事務局は実態を確認しながら、検討いただければと思います。他にいかがでしょうか。

それでは報告事項(2)「ミニバスの車両購入予定について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。今使っている車種を導入するというのですが、5コースは大きい車両になったかと思えます。利用状況を見ると5コースは一番利用者数が多くなっていますが、3コースは2番目に多い利用者数になっていますよね。輸送量的には小型バスで足りませんか。

(事務局) 現状ではお客さんの乗りこぼしは聞いていません。それと中型バスに切り替えたとしても3コース上で通るのが難しい箇所がありますので、現状のポンチョのままで考えています。

(議長) 乗りこぼしがないようでしたら大丈夫そうですが、ポンチョは席が少ないのが難点ですね。ですが、ポンチョはコミュニティバスに適した車両だと思います。他にはよろしかったでしょうか。毎年随時更新していこうという計画ですので、計画どおり進めていただければと思います。

それでは報告事項(3)「ユニバーサルデザインタクシー導入補助事業について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料3に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありませんか。

(委員) 補助制度を設けていただきありがとうございます。事務局から説明のありました国からの補助金として60万円とありましたが、必ずしも60万円がもらえるというわけではありません。得ている情報の中では1台のみの補助だそうです。おそらくどのタクシー会社も満額の60万円は期待していないと思います。ですので、地域の補助は大変助かります。

(委員) タクシー業者の方はご存知かと思いますが、今までタクシー車両として皆さんが目にかけているクラウンコンフォートは生産が中止となってしまいました。そこで新たにジャパンタクシーという車の生産が始まりました。今後はこれを利用してくださいということで生産が始まりましたが、ジャパンタクシーは値段が高く、3割～4割近く差があり困っている現状があります。また2020年にオリンピック・パラリンピックがありまして、当然多くの外国人の方が日本に来るということもあります。日本としてもユニバーサルデザイン化を進めていこうと補助金制度を設けさせていただきました。

ですが、予算も限られていますので、今まで使われていた車が無くなってしまい、値段の高い車に切り替わるということやオリンピック・パラリンピックで需要が増えていくことで全国のタクシー事業者が一斉に手を挙げる状況となっています。予算を大きく上回る応募がありました。それに対して全て対応することができませんので、各事業者1台ずつとさせていただきます。

その中で重要視させていただいているのが、地元の自治体の積極性です。地元の自治体がいかに導入を積極的に進めているかというのを重視させていただいています。このことから補助金を設けている自治体は積極的に導入を進めているという判断材料になります。国としてもこの施策でタクシーの補助が出しやすい要件となったと思います。

それと確認させていただきたいのですが、予算規模と事務所管はどのようになっていますか。

(事務局) 事務については公共交通の担当部署ということもありますので、まちづくり課で対応させていただきます。来年度の予算については議会で承認されているかと思いますが、年間で60万円の予算をつけさせていただきました。従いまして、4台分の予算をつけさせていただきました。

(委員) ありがとうございます。タクシー協会さんからもお話もありましたが、国も予算が限られていることから、予算をつけていただくのはありがたいことです。とはいえ、同様の制度を設けているところも多くなってきましたが、そういった状況を踏まえても1台の補助が限界かなと考えています。またユニバーサルデザインタクシーの予算が増えるとも聞いてはいませんが、来年も引き続きよろしく願いいたします。

(委員) 来年度に愛知県も知立市さんと同じようにユニバーサルデザインタクシー導入に関する補助を実施することとなりましたので、この場でご紹介をさせていただきます。担当部署は交通対策課ではなくて環境部門が所管となっています。ユニバーサルデザインタクシーの中でもハイブリッドの車両に対して補助を行う制度を設けさせていただきました。補助額としましては1台当たり10万円を上限に予算規模としては、約600台、6,000万円程度の予算計上をさせていただいております。これに関しては議会で承認を得ている予算になりますので、これで進むこととなるかと思います。

県の補助としては、条件としまして各市町や国の補助を受けているというような条件はなく、あくまで申請があれば、どの事業者に対しても上限に達するまでは補助を行うということになっておりますので、県内のユニバーサルデザインタクシーの普及促進を図ることを目的としていることから、知立市さんにおいてもぜひ事業者さんに積極的に周知いただければと思います。よろしく願いいたします。

(事務局) 非常に追い風になることだと思いますので、タクシー協会さんと検討しながら進めていきたいと思っております。

(議長) 1点確認させていただきたいことがございまして、6ページにあります、対象となる車両として知立市を主な営業区域として使用するとありますが、これで何かトラブルが起きる心配はありませんか。

(委員) ご指摘のとおりかと思っております。私どもは刈谷市さんの補助金を活用して10台ぐらい入れ替えました。ナンバー自体は知立市さんも刈谷市さんも三河ナンバーとなりますので

で、これについて信頼していただくほかないと思います。刈谷駅に待機して仕事をしている車を入れ替える時は刈谷市さんの補助金を活用させていただき、知立駅で待機している車を入れ替える時に刈谷市さんの補助金を活用することは道義的に許されないとしますので、事業者サイドを信頼していただくしかありません。私たちの商売も信頼が第一ですから、基本的にはそれぞれの市町で車両は使い分けています。ぼやけた話ではありますが、信頼していただければと思います。

(議長) 確かにこの地域は刈谷、安城、豊田辺りは交通圏としては、明確に知立市内だけでタクシーの動きとして完結できないことが多いかと思いますので、あまり意識してもしょうがないことはありますよね。事業者さんを信頼していただいて、知立市で待機していただくような車両という意味合いで補助を進めていただければと思います。

(委員) 知立市以外の営業所があって、知立駅に配車しているような事業者はありますか。

(委員) 私どもの会社としては、営業所自体は三河安城に1つしかありませんが、その中で刈谷、安城、知立での大枠で分けています。ざっとではありますが、知立市をメインに走っている車両が20台ぐらいです。

(委員) 会社自体は知立市にはないけども、運用として知立駅に配置している運転手さん及び車両は決まっていますか。

(委員) 決まっています。

(委員) 知立市内で営業する車も決まっていますか。

(委員) 知立市内でというと苦しいですね。知立駅で乗って刈谷に行くこともありますので。ですが、仕事が終わった運転手でどこに戻るかというのと知立に配属されているので、知立に戻りますという形です。

(議長) 他にはよろしかったでしょうか。それでは報告事項としては以上となります。

#### 4.協議事項

(議長) 続きまして協議事項に移ります。これは実質報告事項に近いかもしれませんが、資料4を使って協議事項(1)「パブリックコメントの実施について」、(2)「知立市地域公共交通網形成計画について」事務局より一括で説明をお願いします。

(事務局) 【資料4、5に基づき説明】

(議長) 先ほど説明がありましたとおり、少し寂しい結果とはなりましたが、パブリックコメ

ントでは特に意見はありませんでした。冊子の67ページにある経緯を眺めてみますと、平成28年の10月から進めてきたものが、ようやく完成形になってきたということでございます。十分な議論を重ねてきたところではありますが、事務局から説明いただいた内容に関しまして、確認のためにご意見・ご質問等あればお願いいたします。

(委員) 2点ばかり確認をさせてください。16ページの公共交通の利用状況の箇所、鉄道駅からの圏域を800mから1kmと修正したとのことでしたが、何かお考えがあってのことですか。

一般的に800mで考えている自治体が多いことと、高齢化が進んでいることもあって、お年寄りの方が長い距離を歩くのが大変という状況もあります。鉄道から1kmも離れているところにお年寄りの方が歩いていくのは難しいということもあって、他の自治体では鉄道においては圏域を小さく考えるのが最近のトレンドです。圏域を大きくとりますと、交通空白地帯が少なくなってくることになりますので、結局バスでどれだけカバーできるかという問題になりますので、どのようにお考えか聞かせてください。

それと63ページのスケジュールと実施主体においてユニバーサルデザインタクシーの普及ということで2026年まで線が引いてありますが、先ほどご説明いただいた要綱の中では補助制度自体は2021年度までなっています。2022年度以降も何らかの取り組みを検討しているということですか。

(事務局) まず1点目の圏域についてですが、実は網計画の策定の前段となる立地適正化計画の中で鉄道駅の圏域を1kmという形で表示させていただいております。バスについては同様の300mとなります。何故かという理由は出てはきませんが、先行して圏域の取り方を1kmとさせていただいていることもありまして併せて1kmとさせていただきました。当初は800mと1kmで間違いがあったというのも、その点で交通の部局と差があったと反省しております。

もう1点のユニバーサルデザインタクシーの普及につきましては、補助制度としては来年度から3ヵ年とさせていただきます。ただそれで全てのタクシーが入れ替わるというわけではありませんので、制度的なもので何ができるかは別としてユニバーサルデザインタクシーへの変更についてお手伝いや協力が今後も引き続きできればと考えています。この記述が適切ではないなら修正させていただきますが、いかがでしょうか。

(委員) ユニバーサルデザインタクシーの補助だけが必ずしも普及促進というわけではありませんので、何ができるか検討いただければと思います。圏域については、上位計画に沿った形にしたということをやむを得ないかと思います。利用状況の把握という話の中で1kmにしているということですので、これはこれとして考えていただいて現実問題として本当に1km歩けるのかという問題もあります。今後バス路線の再編を行っていく中で、交通空白地域でないからといって切り捨てるのではなく、どのくらいの距離だったら利用できるのかを考えた上でより密度の濃い路線を構築していただくことが必要になるかと思います。そのような観点で今後も取り組んでいただけると良いのかなと思います。

(事務局) 参考にさせていただきます。ありがとうございます。

(議長) 最近では圏域についての考えが変わってきているということですね。今後この辺りを考慮しながら進めていただければと思います。他にはいかがでしょうか。

(委員) 警察から1つお願いがあります。犯罪抑止を目的としてドライブレコーダーが普及してきており、既に取り付けられているかと思いますが、車内カメラも含めて取り付けられていない車両がありましたら、ぜひ取り付けていただきたいです。それとカードが入っていなかったというケースもあり、確実な記録と一定期間の保管をお願いしたいです。

(事務局) 現在ミニバスは5台のバスを所有しています。運行事業者は名鉄バスさん、大興タクシーさんをお願いしているところではありますが、全ての車両にドライブレコーダーを設置しています。データの保存期間について私どもでは分かりません。

(委員) 警察の方からそういったお問い合わせや調査に対して協力をさせていただいています。保存期間について業務中は絶えず常時録画をしているということもありますので、現在の状況としては最大4日間程度、記録をしています。

(委員) 表記についての確認をお願いします。まず25ページから29ページの下の図について「図 バス停缶OD(発着地) 図(平日1日の平均(人/日))」という表記ですが、真ん中の図という言葉が必要なのかなと感じます。

それと概要版の交通体系のイメージ図の名鉄三河線、三河八幡駅となっていますが、正しくは三河八橋駅ではないでしょうか。

(事務局) 図については無くす方向で修正させていただきます。また三河八橋駅についても併せて修正させていただきます。

(議長) 他にはいかがでしょうか。この交通会議は市民団体の方々から何か一言ずつご発言いただきたいと思いますので、網計画以外のことでも構いませんので一言ずつご意見いただきたいと思います。

(委員) 半身不随の方がバスを利用していますが、バス停に停まるとき、歩車道境界ブロックが障害となって乗り降りがしづらいと聞いています。なるべく歩車道境界ブロックのない箇所で停車できればと思います。どこのバス停かは分かりませんが、3コースだったかと思います。

(委員) 最近ミニバスを利用することが増えました。2つ気づいたことがあります。1つはバス停の待合としてベンチを設置しておられるかと思いますが、背無しのベンチと背有りがありませんよね。これはどちらかに絞って設置した方が良くないかと思います。もう1つは



4コースを使っていたのですが、4便で文化会館を飛ばしたことがありました。確認いただければと思います。

(委員) どういった状況であったかは調べさせていただきますが、よくあるケースでは経路を誤認した可能性もあります。また具体的な日にちだとかもし分かれば調べさせていただきますので情報提供をお願いします。(後に文化会館の休館日と判明)

(事務局) 先ほどベンチを設置したときに背もたれがある箇所と無い箇所があるという話がございました。私どもも待合環境を良くするためにベンチを設置していきたいと考えており、ベンチを設置する方法も検討させていただいております。どうしてもスペース的に大きなスペースがない所ばかりですので、その中でベンチを置こうとした場合、細いタイプの背もたれが無いものを設置している箇所がございます。またどうしても背もたれをつけてしまいますと、横からベンチの前に回らないといけないスペースも必要になってきますので、そういったスペースを考慮して背付のものと背無しのものということで設置をさせていただいております。

(委員) 背が無いベンチがほとんどですね。無いなら無いで全部を背無しにやってほうが良いかと思います。

(事務局) 今後の参考とさせていただきます。

(委員) ミニバスに乗りたいとは思っていますが、遅れてきたらどうしようと時間に余裕がないため乗ることができず申し訳なく思っています。こういう使い方がありますよと参考になるものがあれば良いかと思います。運転手の方が気づかれたこととかこういうことがありましたと聞きたいと思っていますので、情報をいただければと思います。

(事務局) 今言われたとおりですが、どうしても遅延がついてまわってしまいます。特にこの1年は状況が悪化していることは伺っております。そういった遅延対策というものも考えながらダイヤ変更を協議させていただいております。ですので、なるべく遅延がないようなダイヤに持っていこうかなと考えています。それについては永遠の問題ということもありますけど、皆さんが乗りやすい状況を少しでも作れるように努力させていただきたいと思っています。

(議長) 商工会とバスは親和性が強く、バスを使った方に割引券を出すだとか、逆に買い物していただいた方に回数券をプレゼントするだとか様々なやり方で利用促進に貢献する部分がありますので、商工会で検討いただけたらと思います。

(委員) 渋滞の話が出ましたので、補足させていただきます。渋滞対策協議会に参加しています、そこで色々な話を聞いたり意見を言わせていただいております。各市町や県、整備局もそうですが、渋滞に関する情報を持っておりまして、何時台にどこで渋滞が発

生し、どこで多く並んでいるといった情報を細かく持っていますので、そういう情報も参考にしつつ、経路やダイヤを組んでいただくのも渋滞解消の1つの対策になると考えています。

逆に現在自家用車で移動する方をバスで移動する方向に持っていくことによって渋滞を減らす方法もあります。例えば駅の送迎などで混みあったり、特定の事業所に行かれるのに交差点が混む等の場合は、そこに便利な時間帯にバスを走らせ緩和する方法もありますので、まちづくり課だけで行うのではなく、役所の中全てで協調してやっていくのが大切かと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いします。

(委員) 去年の末に骨折をしまして、ミニバスを利用させていただこうかと思っていましたが、やはり行きは良くても帰りが不便ということがありました。他市の病院を利用することもありましたが、広い市だとなかなかバスが来ないことに気づきました。ですので、その点、知立市は非常に細かく運行いただいていると思えました。逆コースを希望されている声は多いかと思いますが、これだけ細かいと逆コースはかえって大変ではないかとも思いました。

(議長) ありがとうございます。費用的な事も考えながら市民へ効率よくサービスを展開していかないといけないのは難しいところですね。それでは知立市地域公共交通網形成計画について、先ほどご指摘いただいた点を修正いただいたうえで、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(委員) (全員挙手)

(司会) ありがとうございます。出席者全員に賛成いただきましたので、細かい修正したうえで計画として策定ということになります。また運輸局さんに提出という形になるかと思いますが、事務局で進めていただきますようお願いいたします。それでは議題としては、以上となりますので、進行を事務局にお返しします。

(司会) ありがとうございます。最後に5. その他ということで事務局よりお知らせがございますので担当より説明いたします。

## 5. その他

(事務局) 今年度の夏ごろにミニバスの情報を掲載しましたナビゲーションシステム「NAVITIME」に加え、新たに「ジョルダン」というサービスにも登録をいたしました。これからも幅広くミニバスの情報が周知できるように努めていきますのでよろしくお願いいたします。

(委員) 「NAVITIME」に加え、「ジョルダン」も使えるようになったということで、情報の周知に努めていただいていると思えます。ただ、先ほどの網計画の中でもG T F S化と

ということがありましたが、現在県が中心となって進めていただいております、ありがたく感じています。その中で同じ検索ができるグーグルマップへの対応が望ましい部分があります。グーグルマップへの対応はどのようにお考えですか。

グーグルマップの何が良いかと言いますと、もちろん「NAVITIME」や「ジョルダン」も良いのですが、この2つはバス停名を知らないと検索ができないという欠点がございます。近くに住んでいる方はバス停名を分かっているかと思いますが、例えば遠くから来た人がいつも行かない目的地に向かうときに、最寄りのバス停名を知っている人はなかなかいないはずで、そういったときに、グーグルマップですと、使い方を把握できれば、場所を指定するだけで、どこのバス停が近くで何分で歩いていけるのか、どこで乗り換えて、どこで降りてといった具合に全てを教えてください。またグーグルが行っていますので、何ヶ国語にも対応していますので、非常に便利なものとなっています。

ぜひそちらの方向でも対応いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局) 現在愛知県さんが主体となってバスのGTF S化についての研修を開いていただいております、知立市も参加しています。そこでGTF Sデータの作成について、勉強させていただいています。GTF S化を行うことによって、グーグルマップへの掲載が可能となり、大きなメリットがあると事務局も認識しておりますので、これからGTF S化に向けて勉強させていただきながら、掲載を目指していきたいと考えています。

(司 会) 他にはよろしかったでしょうか。それでは、本日の総合公共交通会議は終了となります。本日はお忙しい中ありがとうございました。